

活力ある豊かな益城町へ 地域福祉、文化の向上をめざして

益城町議会議長 中村 健二

皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい平成26年の新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

町民の皆様には、平素から町議会に對しまして、深いご理解と暖かいご支援・ご協力を賜り、議会を代表しまして深く感謝とお礼申し上げます。

昨年3月の定例議会におきまして、福永前議長のあとをうけ就任させていただきました。微力ながら17名の議員共々、町民の皆様の付託に応えるべく努力を傾注してまいりました。これからも議会としての使命を果しつつ、一致団結して町の振興発展のため、尽力を惜しまぬ覚悟でございます。昨年同様本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国内最高気温41.0度を記録した猛暑から、秋を通り越して真冬並みの寒波が襲来するなど異常気象の一年ではなかったでしょうか。2020年東京オリンピック開催決定の感動も覚めやらぬ頃、度重なる台風襲来により、日本国内外で多大なる風水害を被りました。幸いにして、本町には大きな災害は発生しなかったものの、常日頃から防災・減災に対する備えと構えの重要性を改めて痛感するものであります。

昨今の社会経済状況は、皆様ご承知のとおり、平成24年の政権交代以降、「アベノミクス」と唱えられる活力ある社会経済の実現がはかられ、景気が上

向いたといわれているものの、周囲に目をうつせば、依然として先行き不透明な厳しい状況が続いています。

一方、地方自治においては、震災復興予算に伴う交付税の減額、少子高齢化等さまざまな諸問題が山積している今日、町民に身近な市町村行政の役割が、ますます重要なものになってきています。

町議会としましては、メリット、デメリットを十分精査しながら、町民の福祉、文化の向上を第一に捉え、この諸問題に取り組んでいかなければならないと考えております。

そのような状況の中、本町においては、「第五次益城町総合計画」の健康づくり推進事業の根幹となる保健福祉センター「はびねす」が、町の複合施設として初めて広安校区に完成し、昨年のオープン以来、住民健診や健康管理はもちろん児童館や公民館としても大いに利活用されております。更には、

本年供用開始となる

小池高山イン

ターチェンジャグ

ランメッセ木山線

の整備促進、地域活

性化・定住促進事業な

ど、さまざまな事業が

展開され、その効果が町の

活性化につながっています。

それと併せて、下水道や生活道路と

いった住環境の整備だけではなく、子育て支援や健康寿命対策といった健康・福祉施策、学校教育環境の充実に進展が図られるものと期待しているところでございます。

今後も執行部と表裏一体となり地域福祉、文化の向上を図り、活力ある豊かな益城町をつくるため全力を尽くす所存でございます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとってすばらしい年となりますことをご祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

